



令和4年3月14日

港区立青南幼稚園長 新山裕之

令和3年度 自己評価結果報告

保護者が評価する幼稚園アンケート自由意見（抜粋）と幼稚園としての考えと改善策

【経営計画・経営方針について】

- 都会にある幼稚園とは感じさせない自然体験等の環境づくり、遊びや自然を通しての教育活動に感謝しています。今後も継続してくれることを期待しています。（同様多数）
- まだコロナ禍の中ですが、工夫をしながら行事などをしていただき、いろいろな場面で子どもの成長を感じることができています。（同様多数）
- 今回のアンケートを通じて、直接目には映りにくいたくさんのサポートがあるからこそ、親子共々安心して楽しく通えているのだなと思いました。日々の園運営、感謝いたします。
- 園長先生の仰っている心の根っこを育てるということを、園に通わせてとてもよく実感しています。

保護者や教育委員会などの協力のお陰で、感染対策を徹底してコロナ禍でもできる取り組みを工夫し、安全・安心な園運営ができています。青南幼稚園の自然環境のよさなどを生かして取り組み、可能な範囲の中では充実した生活ができており、感謝しています。

【園だよりやHPについて】

- なかなか保護者が園に入れない状況でも、写真がたくさん載った「がくぶり」での学年便りやホームページの頻繁な更新で幼稚園の様子が分かりやすく知ることができてありがたい。（同様多数）
- ホームページはコーナー分けが細かく、更新されているところが分かりにくい。一つのコーナーから更新順に全部読めるとありがたい。また、ツイッターなどで更新情報を発信していただきたいです。
- 「がくぶり」が導入されたことで、学級便り等の写真がきれいになり、小学校と同じアプリなので、使い勝手もよく、過去のお知らせもすぐ確認できてよかった。
- 保護者会などのzoom開催や録画配信がとても助かりました。顔を合わせて話を聞く大切さもありますが、都合に合わせて拝聴できるのは便利でした。
- もっとzoomなどを利用して、行事などの配信をすれば、他の組、異学年の様子も見られるようになるのでは？

「がくぶり」の導入のお陰で、翌月の予定を早く知りたいという以前からの要望にお答えすることができました。学年だよりなどがすぐに配信できるようになり、幼稚園での様子を発信する機会が増え、ペーパーレス化や教職員の働き方改革にもつながっています。来年度は区の予算で新しい園務支援システムが導入され、そちらから配信する予定です。Zoomでの保護者会や懇談会はできましたが、行事の様子をオンラインで配信するには、まだいろいろなハードルがあります。

【PTA活動について】

- 役員、委員として「できることを無理なく楽しく」活動できていると思うが、それとは別でボランティアとしてもっと保護者が参加する機会や、みんなでやろう！という気持ちが保護者の中にあると、全体の雰囲気をもっとよくなるように思う。
- PTA活動が負担になっている人がいないか心配である。

今年度のPTA活動は、コロナ禍でもできる工夫を凝らして園の行事を支えていただき、PTA独自の活動も一歩前進しています。しかし、意思疎通や情報共有については様々な課題が見付かりました。特にPTAと連携する行事については、実施方法や内容を模索中、お互いの共通理解のために、年度初めに一年間の見通しを共有するためのフォーマットを協力して作成しています。

【異学年交流や小中学校との連携】

- コロナ禍という状況であるため、年少児は特に実現が難しいと思われるが、他学年のように工夫された地域交流の場がもう少し増えるとよいのではないかと思う。
- コロナ禍の前は、なかよしペアというものがあり、とてもいい経験だと思っていた。今年は相手の名前が分からないということもあり、つながりが弱いのかと思う。
- 今はクラス単位、学年単位で交流があるようで、刺激をもらったり、憧れたりしているようで、よかったなと思う。
- コロナ禍で小中学校や地域との関わりが少なかったと思います。

感染対策のため、全体で集まることはできないため、学級や学年毎に組み合わせたり時差を付けたりして交流ができるような工夫は、すでに日常化してきています。遊びや生活の中での活動の交流も、意識して積み重ねています。小中学校との対面での交流は感染対策のため、残念ながらできていませんが、**3月には1年生の授業見学やそれをきっかけに書面でやり取りをする交流をしています。**

- ★作品展の写真などで取り組みの様子を紹介する掲示物を小学校に届けて、見てもらう交流を実施しました。
- ★青南地区の保幼小合同研修として、幼児期から小学校入学期の生活に関する指導ポイントを共通理解するための資料作りをメールや電話でのやり取りで進めています。集まった協議会ができないため資料を基に書面で意見交換をする形で共通理解を深めています。
- ★施設利用は、第2校庭の日常的な利用や親子フェスタの開催、昼休みの校庭の利用、そして修了式の体育館での実施など、大変お世話になっています。これも日頃からの連携の賜物です。
- ★中学校との連携は、中学生が家庭科の授業で作ったおもちゃを届けてくれました。それを受けて間接的な中学生との交流を進めています。

【遊びや生活、自然との関わりについて】

- 日々の充実した園生活が重なり、園での学びが家での生活にも生きていて、成長を感じている。休みでも幼稚園に行きたいと言っていて、感謝しています。(同様多数)
- 作品展でも強く感じたことですが、幼稚園での生活の細部にわたって、子供の好奇心を刺激して、楽しみながら多くのことを学べる望ましい環境が整っていると感じます。また、日常的に継続して自然との関わりをもてることは、四季を感じたり、日本の良さを感じたりすることにもつながっていくと思うので、とても有り難く、続けていただきたい活動です。
- 素晴らしい自然環境から教材をもらい、作った成果物を子が親に説明するために公園に行くと同じものが入手でき、工作や経験の幅が広がる。とにかく、(好きな遊びの選抜や楽器決め等)個々の気持ちを大切にしてくださっているのがよく伝わる。そのお陰で子どもは決断したり、意見をもったりする習慣ができてきたと感じる。この後の成長につれ、大勢の前で表現したり、思いを伝えたりできるよう引き続き見守っていただきたい。
- 都会の中で、虫や植物、野菜など、自然と存分に触れ合える環境の幼稚園であることにとっても満足して思います。また、先生方がその環境を整え、子どもたちが関心をもつよう導き、遊びを通して積極的に触れ合わせてくれていることに感謝しています。(同様多数)

どんなに恵まれた自然環境も手入れをし、その価値を知らなければ活用することはできません。身近な自然の営みやその変化を子どもと共におもしろがって遊びや生活に取り入れることで、誰もが楽しく関わることができる青南ならではの遊びが共有されてきています。**感染対策のための分散開催や時差を付けての実施にも慣れ、日常的な異学年交流もできた充実した日々でした。**

【教師の指導について】

- 毎日楽しく通っていることが、何より幼稚園が子どもにとって安心できる居心地のよい場所であるということだと思います。ご尽力いただいている先生方、取り組みの内容、友達同士の関係の良好な形成など、全てのことに気を配られているからこそだと感じます。

- コロナ禍で、いろいろなことが制限されたり、園の仕事は増えたりで、大変なご苦勞をされていると思いますが、そんなことも感じさせず、先生方はいつも元気で笑顔で明るくて、とても頼もしいです。
- いろいろなことを研究して、それを教育に活かしているのが伝わってきて、すごく熱心な幼稚園だなと思いました。それが子どもたちにも確実に伝わっていて、園に通うことで、大きく成長しました。担任の先生も熱心に子どもと向き合っていて下さっている。
- 園長先生や担任の先生方、主事さんまで温かい声掛けや目配り気配りのおかげで、園生活に安心し、友達と関わりあえているように感じる。子育てで困ったことなども相談しやすく、親身になって話を聞いてアドバイスを下さりありがたいです。(同様多数)
- 子ども一人ひとりの個性や特性を大切に尊重してくださっていることに本当に感謝しています。
- 先生方職員の皆様がとても親しみやすく温かく接して下さり感謝です。

コロナ禍で教職員にも多くの負荷が掛かる中、子どもたちの健やかな育ちのために全教職員が前向きに職務に取り組んでくれています。その姿勢をご理解いただき、感謝の言葉をいただいたことは、この上ない喜びであり、励みとなります。

【安心・安全について】

- 隣のクラスの担任や補助の先生、事務の先生が何気ないときに子どもの様子を教えてくれたり話しかけてくれていて、担任だけではなく、園全体で見守ってくれていると感じた。
- 通園の際に、幼稚園と第2校庭の間の道路に、在園児の保護者の自転車がこちらこちらに停められている。こちらが注意するのもトラブルになりかねないと思い、気を付けて通るが、歩きなのでヒヤリとすることが多々ある。

西側の道路では、車へのいたずらや階段下やフェンス内への入り込み、ドアの鍵穴へのいたずらなどもありました。降園時に自転車置き場付近で保護者がちょっと目を離した際の出来事の様です。園庭開放、徒歩通園、交通安全も含めて、皆さん一人一人の自覚とマナーを高めていただきますようよろしくお願い致します。

来年度の主な予定について ※現時点の予定であり、感染状況等により変更する可能性もあります。

【遠足や南青山探検隊について】

- *例年の親子遠足は、保護者同士の顔合わせという意味合いもありました。園内、園庭や第2校庭などでの触れ合い活動や保護者同士の顔合わせや親睦を図る機会にできたらと考えています。
- *「みなと科学館」には6月後半に、年長組親子で見学できるよう予約申し込みをしています。
- *バス遠足は、発達や生活経験の積み重ねを考慮して、4・5歳になってから参加します。
- *地域の公園に出掛ける南青山探検隊を数回予定しています。

【大きな園行事について】

- *親子運動会(親子フェスタ)は11月中旬に、おおよそ今年度と同様な形で実施する予定です。
- *作品展は10月中旬に、おおよそ今年度と同様な形で実施する予定です。
- *区の研究奨励園としての研究発表会を10月27日(木)に実施します。
- *音楽会は12月下旬に、おおよそ今年度と同様な形で実施する予定です。
- *生活発表会は2月上旬に、学級ごとに日を分けておおよそ今年度と同様な形で実施する予定です。

【青南まつり、もちつき、お楽しみ会などについて】

- *青南まつりは6月に、現時点では外部の方を招待することはありません、園内で実施する予定です。
- *餅つきは1月に、ついた餅を食べることはせず、今年度とほぼ同様な形で実施する予定です。いずれも幼稚園からの提案を基に、各委員会の皆さんにもお手伝いいただければと思っています。
- *保護者有志のお楽しみ会(出し物の披露)は、保護者同士のつながりを築いてきた大事なイベントです。詳細はPTAの皆さんと相談していきたいと思っています。

【靴の貸与について】

- *足育については、学体連やJES日本教育シューズ協議会のご協力をいただき、引き続き、上履きを貸与していただきます。新年長児の園庭用の外靴は、在庫が揃い次第、貸与していただける予定です。